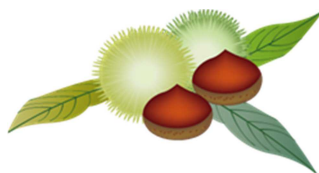


# 県中農林事務所 農村整備部トピックス 10月号



## ○ 新しいほ場整備工事が次々に着手される

管内のほ場整備済み面積は全体の63%で県全体の71%に比べて低いものとなっています。農業従事者の高齢化やTPP交渉の大筋合意などますます厳しさがます農業情勢を受け、早急に基盤整備を進める必要があります。担い手への農地の集約を進め、これ以上耕作放棄地を出さないで、消費者に安心・安全な農産物を安定的に供給できる体制を整えることが求められています。そのためにはほ場整備が最低限の必要条件といえます。

県中農林事務所管内では昨年度から今年度にかけて次々と新しいほ場整備事業が動き出しています。秋晴れの元、各地で地元及び行政関係者が出席して起工式が行われ大型重機による工事が始まりました。今後は地域の農家・住民の御協力の元、関係機関が緊密に連携して安全に工事を進めて参ります。

### ▶ 須賀川市前田川地内 「前田川地区」

区画整理工 A=71ha

10月19日(月)、起工式が行われました。

施工業者：(株)あおい



### ▶ 郡山市喜久田町地内 「堀之内地区」

区画整理工 A=25ha

### ▶ 郡山市喜久田町地内 「前田沢地区」

区画整理工 A=32ha

10月27日(火)、合同で起工式が行われました。

施工業者：昭和建設工業(株)及び富士工業(株)

